神戸国際大学経済学部国際文化ビジネス・観光学科

山田 佳歩

#### 1. はじめに、研究の目的

一般的に都市の花壇は、毎年草花を 2~3 回植え替えることが不可欠であり、持続可能性が極めて低く、言い換えれば都市のガーデンは常に費用をかけなければ景観を維持することができないと言える。六甲アイランド city ローズガーデンと亀岡いきいきガーデンの2つのコミュニティガーデンは、どちらも地域の住民が維持管理する同規模のガーデンであり、持続可能性を獲得するように計画されていて、それがどのように実現できているかを調査・研究する。現地調査、アンケート調査により検証し、得られた知見は都市ガーデンの持続性を高め、花と緑のまちづくりの普及につながると考えられる。

#### 2. 調査方法

#### ①現地調査

2 つのガーデンを定期的に比較観察・分析することで、持続可能なガーデンの手法を明らかにする。得られた知見をゼミで継続研究することも目的の 1 つである。

#### ②アンケート

2 つのガーデンを維持管理している住民団体にアンケートを実施し、2 つのガーデンに 違いを明らかにする。

#### ③分析

それぞれのガーデンの植栽の種類、維持管理、表現方法を1年間を通して分析する。 3. コミュニティガーデンとは

近年、公共空間での花壇作りや地域のコミュニティでーデンを作るコミュニティガーデンが普及し始めている。庭作りは個人の住宅などのプライベートな場所で個人の自由な表現と楽しみとして行われてきたが、マンションや庭を作るスペースのない住宅の普及が原因で庭作りをプライベートな場所で楽しむことが難しくなってきている。そのため、住居環境の美化によるまちづくりの一環として、コミュニティガーデンへの取り組みが各地で始まっている。コミュニティガーデンが支持される理由は、大きな規模である必要はなく誰でも、いつでも簡単に取り組める利便性が評価されている。また、植え付けた植物が成長し美しい花を咲かせたときの達成感と満足感、花を愛でることで安らぎや癒しが得られるといった日常生活から失われつつある部分を補完する機能、近隣住民とのコミュニケーションを取ることができる機会になることも魅力の1つとなっている。

### 4. 2つのガーデンの比較

### 4-1. 六甲アイランド city ローズガーデンとは

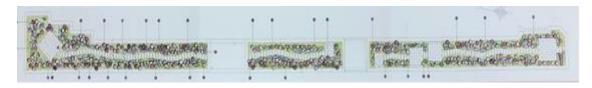


図1:六甲アイランド city ローズガーデンの平面図

#### ①植栽されている植物

丈夫でローメンテナンスで栽培できるシュラブやつるバラ、バラポリアンサなどの品種を選定し、維持管理の軽減が計れるように計画している。バラの咲く時期に合わせて咲くジキタリスやカンパニュラ、初秋にはコスモス、バラの咲かない冬はビオラなど、四季それぞれに花の景観が楽しめるような工夫をしている。

### ②維持管理

無農薬での維持管理をするため、全国のバラ園造りで豊富な経験と知識を持つ神戸国際大学白砂伸夫教授に病気や害虫に強く手のかからない一年中花が咲いているローズガーデンの設計を依頼し、神戸市には各花壇に散水栓の設置と花壇の横にホースの収納場所づくりを依頼。住民の維持管理運営については、プロジェクトメンバーが主体となるボランティアグループを作り、現在40名で活動。各地のバラ園を訪問しバラ園の管理人との意見交換等を通じて、自分たちのバラ園との違いや維持管理についてのノウハウを得ている。

#### ③六甲アイランドバラ祭り

ローズガーデンでは毎年5月になるとバラ祭りが行われる。40 種類以上のバラやその他たくさんの花が咲き乱れる。イベント初日にはオープニングセレモニーが行われ、ローズカフェなどもオープンする。



図 2:5 月の六甲アイランド city ローズガーデン

#### 4-2. 亀岡いきいきガーデンとは

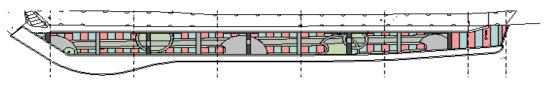


図3: 亀岡いきいきガーデンの平面図

### ①ガーデンの特徴

農家の草花を利用することで、ローメンテナンスで枯れにくい植物を中心に構成し、「持続可能なガーデン」を目指している。石材は亀岡市が保存していた不要な石材を再利用して庭作りを行っている。ローメンテナンスで持続可能なグリーン空間を都市に寄与すること、緑を通じて地域づくりにも取り組む点を評価され、緑の環境プラン大賞のシンボル・ガーデン部門緑化大賞を受賞しその賞金で実現された。

#### ②維持管理

民間企業、市民、農芸学校、市の職員と連携しながら、それぞれの立場とノウハウを生かすことで維持管理を行っている。維持管理としては夏の散水、植物の生育不良改善のための土壌改良を行っている。

#### ③植栽イベント

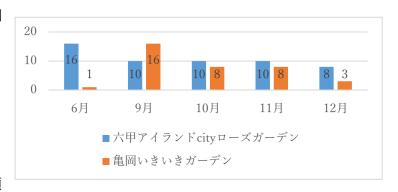
植物の植栽は造園業者に依頼するのではなく、植栽イベントを開催することで住民が中心となって草花を植え付ける。地元の皆さんの庭先の草花を株分けしたものや、農芸高校の生徒が挿し木をして栽培したバラなどを植えている。亀岡いきガーデンの狙いは成長した植物を株分けし、亀岡市内の各所に展開することである。「亀岡いきいきガーデン」がここから亀岡市内に広がることで、やがて亀岡市全域を花に溢れる空間を創り出していくことが目的である。



図4:植物への名札付け

#### 5. 2 つガーデンの植生調査

6月から約半年間、1ヶ月に1回 それぞれのガーデンに訪れ、咲いている花の品種数を調査した。六甲アイランド city ローズガーデンは、6月は16種類もあったが冬になるにつれ数は減少していった。しかし、亀岡いきいきガーデンでは平均約10種類



と6月から12月で変化は感じられなかった。

### 6. アンケート調査のまとめ

### 【六甲アイランド city ローズガーデン】

「ローズガーデンファミリー」

- ・街の中心部に花と緑があふれ、市民に潤いと 憩いを与えている。また、人々の交流の機 となっていて、存在感は大きい。
- ・学生の参加を希望する。
- ・デザインが美しくおしゃれで、六甲アイランドにふさわしい

### 【亀岡いきいきガーデン】

「京都農芸高校の方々」

- ・地元である亀岡に素敵な場所ができてとても嬉しい。
- ・植栽イベントなど、人とつながりを作る機会となりガーデン作りを通して地域の人たちと 関われたので良かった。

### 「花と緑の会」

- ・植えた時はどんな花が咲くのか、どんな庭になるのかわからず不安だったが、きれい な庭になり嬉しい。たくさんの人が訪れて、観光名所になれば良いと思う。
- ・場所的にも分かりづらく、地域活性化につながっているのかどうか不明だ。

#### 「亀岡市役所の方々】

- ・今まで花やガーデンに関わることがなかったが、いきいきガーデンに参加することで花の綺麗さに感動し、また自分が手掛けたガーデンは思い入れが生まれた。
- ・維持管理に手間と費用がかかるため、地域 住民との協働が欠かせないと思う。また、 参加したいと思う市民が参加できる仕組 み作りが重要であり、課題であると思う。



### 7. まとめ

この研究を通して 2 つのガーデンを比較してきたが、市民による持続可能なガーデン作りは簡単なものではなく維持管理費などの問題もあった。アンケート調査では、直接ガーデン作りに関わっている地域の方々の声を聞くことができた。このガーデン作りに参加することで色々な人と関わり交流の場ができた、自分が手掛けたガーデンは思い入れが生まれたなどの良い意見が多数だったが、その反面維持管理が大変なためもっと市民に協力してもらいたい、若い人にももっと参加してもらいたいなどの意見も多く挙がった。これらの問題を解決するためには私たち白砂ゼミが率先して地域の方々と長く付き合っていくことができるように、様々な活動があることを伝えていく必要があると感じた。

# 参考資料

# 植栽リスト:六甲アイランド City ローズガーデン

# 6月 (12種類)

カンバニュラ・メデューム	ヘメロカリス	チドリソウ	バラ・パワトオースティン	キンギョソウ	カンバニュラ・メデューム
					TO P
チドリソウ	バラ・サハラ 98	バラ	シロタエギク	エリゲロン・カルビンスキアヌス	ジキタリス
					VA

# 9月 (10種類)

フィソステジア	プルンパゴ (自)	バラ・ロッテリア	シロタエギク	キンギョソウ
No.				75
バラ・サハラ 98	シュウメイギク	プルンパゴ	バラ	ツルバキア

# 10月(10種類)

フロックス・バニキュラータ	ザ・フェアリー	シュウメイギク	フィソステジア	タマスダレ
バラ・京雅	プルンパゴ	キンギョソウ	ツルアイスバーグ	バラ ジ・アレクサンダーローズ
-30°	**			

# 11月(10種類)

プルンパゴ (白)	カクトラノオ	バラ	バラ	シュウメイギク
プルンパゴ	バラ・バットオースティン	キンギョソウ	アベリア	バラ ザ・フェアリー
A CONTRACTOR				

# 12月 (8種類)

サハラ 98	ザ・アレキサン ダーローズ	プルンパゴ	キンギョソウ	ロッテリア	シュウメイギク	プルンパゴ	エリゲロン・カルビ ンスキアヌス
	505		No.				

## 植栽リスト: 亀岡いきいきガーデン

## 6月(1種類)



## 9月 (15種類)



### 10月(8種類)



## 11月(8種類)



## 12月 (3種類)

ダリア	キク	ルドベキア・タカオ
	**************************************	